



## World Supersport Championship

round - 4 Holland April 22

### 大久保光一予戦 12 番手 決勝リタイヤ

World Supersport Championship (WSS) 第4戦がオランダのTTアッセンサーキットで開催されました。大久保光は金曜日に行われたフリー走行で8番手につけ、予選 Q2 進出を決めました。スーパーポールでは、トラブルでタイムアップ出来ずに12番手。リヤシャフトとリヤブレーキの繋ぎ部分が割れてしまうというトラブルでした。

更に決勝朝のフリー走行では、リヤのサスペンションにトラブルが出てしまい、決勝に向けての最終確認が出来ないままに、グリッドに着かなければなりませんでした。決勝スタートで、チームメイトと接触し、転倒してしまい、その衝撃でチェンジベダルが折れてしまいます。その状況でも、なんとか、12周まで走り続けましたが、リタイヤとなりました。

開幕から、続く、トラブルにチームも頭を悩ませています。監督は「ここまで悪い流れが続いているので、次戦を開幕戦と思い、仕切り直して、新たな気持ちで挑もう」と大久保に伝えました。大久保の力を誰よりも認めており「トップ10に入る力は確実にあり、普通に走り切れば5位6位には行ける。チャンスを生かすことが出来れば表彰台に登ることも可能だ」と言います。大久保自身も、苦手としていたアッセンで、スーパーポール進出をあっさり決めることが出来たことは、昨年より、自身が進化していることを確信させるものでした。

#### 大久保光

「アッセンサーキットは、攻略が難しく、苦手意識があったコースです。ですが、走り出しから、感触が良く、スーパーポールに進むことが出来ました。これまでは、スーパーポールに出ることが課題だったので、それが、すんなり叶ったことで、自分の調子が悪くないことが確認できました。ですが、結局、リタイヤ。開幕から、ここまで、チェッカーを受けることが難しいシーズンを経験したことがないので、正直、落ち込みます。チームも精一杯にやってくれているのに、トラブルが続き、自分の中に焦りもあって、転倒につながっているようにも思います。監督は、ここでリセットだと言います。次戦はチームの地元、イタリアです。そこが、自分たちの開幕戦。これまでの悪い流れを絶ち切って、ポジティブに挑んで行こうと言っています。チームの信頼関係を築けていますし、僕自身、ケガもありません。絶対にやってやるという気持ちも失っていない。だから、チームと一緒に、上昇していけるようにと思っています。応援して頂いている皆さんには、心配ばかりかけて申し訳ないと思っています。でも、こんな時だからこそ、これからは、絶対にいいレースが出来るはずだと信じて乗り切りたい。最高の結果を残せるように頑張ります」

※次戦は5月13日イタリアで開催されます。

◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : [no1\\_hikari@yahoo.co.jp](mailto:no1_hikari@yahoo.co.jp) [大久保 光]

